

令和6年度第3回川口市廃棄物対策審議会議事録

- 1 開催日時 令和7年2月13日(木) 午後2時00分から午後2時40分まで
- 2 開催場所 リサイクルプラザ4階 研修室
- 3 出席者 (1) 川口市廃棄物対策審議会委員：13人
学識経験者：河井 一広(副会長)
市議会議員：稲川 和成(会長)、幡野 茂
市 民：木村 利充、太田 博信、笹原 文雄
山本 一恵、島田 宏エ、池田 和美
事業者：林 嘉和、岩崎 康彦、鈴木 守郎
関係行政機関：小西 まどか
(2) 事務局：11人
須藤環境部長、金野環境総務課長、佐藤資源循環課長
岩田環境施設課長、沼口収集業務課長
梨子木戸塚環境センター所長、平山朝日環境センター所長、
資源循環課板橋課長補佐、飯田主査、金森主査、神子主事補
- 4 傍聴者 0人 傍聴申込受付期間：令和7年2月6日(木) から
令和7年2月12日(水) まで 定員2人
- 5 議 題 (1) 川口市一般廃棄物処理基本計画等の改定について
(2) 朝日環境センターでの火災に伴う現状と今後の見通しについて
(3) その他

6 議事録

令和6年度第3回川口市廃棄物対策審議会
1 開 会
2 挨 拶
会長挨拶
議事録確認者選任 鈴木守郎委員が指名される。
議題（１）川口市一般廃棄物処理基本計画等の改定について
事務局から、資料に基づき説明。

委員	資料１の１(２)について、現状、プラスチック製容器包装の年間排出量はどれくらいか。また、改定後の処理理想量はどれくらいか。
事務局	本市ではプラスチック製容器包装が年間 3,440 トン排出されている。国の指針である「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を考慮し、現状の 1.2 倍の処理量を想定している。
委員	プラスチック製品のみで 1.2 倍の処理量との認識でよいか。
事務局	プラスチック製容器包装と同時に収集を実施し、プラスチック製容器包装とあわせて全体で 2 割増加を想定している。
委員	収集及び中間処理等の方針について、どちらか一方のみ実施等の計画はあるか。
事務局	現在、南ストックヤード内にプラスチックの資源化施設を建設可能であるか、事業者への調査を実施している。そのため、具体的な計画等には至っていない。
議題（２）朝日環境センターでの火災に伴う現状と今後の見通しについて	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	資料２の２(１)について、各社新聞に記載のとおり朝日環境センター運転再開時期の見込みは令和 7 年 1 2 月であるという認識でよいか。
事務局	被害状況として、ごみクレーン 2 台が破損している。1 台は部品交換のみで対応可能であるため、現在部品を調達しており、10 月に修理完了、11 月に試運転、12 月に一部焼却を再開する予定である。もう 1 台は全損のため、約 1 年の修繕によって完全な復旧を目指している。
委員	焼却施設における火事は全国的に発生している。また、リチウムイオン電池等からの発火について、未然に防ぐことは極めて困難である。焼却施設の再稼働に向けて、火災が生じた場合の速やかな対応が必要であるが、何か考えているのか。
事務局	再発防止に向け、ごみの表面温度を常時監視し、自動放水される設備やデジタル化によって鮮明にピット内を確認できるカメラ等、数カ所のごみ処理施設の最新設備の視察を実施した。これらの設備を視野に入れ、対応を検討していく。
委員	資料２の１(１)について、考えられる発火原因はあるか。

事務局	消防局より現在想定される原因は、リチウムイオン電池またはオイルが付着した布製品等による発火であるとのことである。
委員	資料２の１（５）について、市内掲示板に貼られているポスター内の「ぜつえんして」の意味が外国籍住民は理解できないのではないか。また、リチウムイオン電池がどのような製品に内蔵されているか、写真が分かりづらいため、製品名を記載することはできないか。
事務局	リチウムイオン電池は数多くの製品に内蔵されているため、ポスターには主な品目である携帯型扇風機や電子たばこ等を掲載している。ご意見を参考に、今後も周知啓発に努めていく。
委員	リチウムイオン電池内蔵小型家電について、排出時の案内を具体的に周知してほしい。
事務局	さらなる周知について、今後検討していく。
委員	火災が発生時の消防計画は策定されているのか。
事務局	防災計画として避難については記載されているが、消火活動についても今後検討していく。また、消防局にて特殊警防計画が策定されている。消防の誘導、連結送水管等の配置図、鍵の開錠体制について、南消防署と連携し、迅速な消火活動に向けた計画の見直しに努めていく。
委員	他市の掲示板には透明な袋で排出するよう掲示されていた。本市の掲示場や集積所にも同様に、袋内が目視できる透明な袋で排出するよう掲示はできないか。
事務局	火災以前より、白色半透明もしくは透明な袋に入れてごみを排出するようお願いしている。また、個人のプライバシーに関わる問題であることから、その点も踏まえ今後検討していく。
議題（３）その他	
事務局より、委員退任に係る挨拶。	
質疑なし。	
議長	最後に委員のみなさんから何かあるか。
委員一同	意見なし。
議長	みなさまから貴重な意見を賜りましてありがとうございました。そ

	れでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。以上をもちまして令和6年度第3回川口市廃棄物対策審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。
閉会 (14:40)	
会議の内容については、以上のとおりです。 令和7年2月28日 川口市廃棄物対策審議会議長 稲川 和成 川口市廃棄物対策審議会委員 鈴木 守郎	